

世界の果てまでオッペケペーの種を蒔け

清水友美 performs 野村誠×近藤浩平×田口雅英



Tessai Kobayashi

Alfred WONG: 2 Javanese Gamelan Transcriptions (ピアノ連弾: 清水、野村) 日本初演

Ramón P. SANTOS: KLNTANG (ピアノソロ: 清水)

YII Kah Hoe: My Sprit is Dancing! (ピアノソロ: 清水) 日本初演

清水友美 (foolish fish): 川上音二郎版「八十日間世界一週」劇中音楽より

(鍵盤ハーモニカとピアノソロ: 清水)

野村誠 : Chant for Sleep (ピアノソロ: 野村 ダンス: 清水)

おっぺけペーの種を蒔け (ピアノソロ: 清水)

田口雅英: 九代目市川團十郎によせる舞曲 (ピアノソロ: 清水)

ある葬列の追憶～川上音二郎野辺送りに因んで～ (鍵盤ハーモニカデュオ: 清水、野村)

近藤浩平: 世界の果てまでオッペケペー (声とピアノソロ: 清水)

Very Very Sleepy の歌 (歌とピアノソロ: 清水)

(プログラムは、気分や都合、思いつきにより変更になる場合があります)

2021年12月19日(日) 14時00分開演(13時30分開場) 入場料: ¥3000 配信※: ¥1000

会場: YOSHU ホール 大阪府中央区南船場1-4-1 1モリビル2F ※録画により後日限定公開

大阪メトロ長堀鶴見緑地線「松屋町駅」1番出口より徒歩5分

予約・問い合わせ: 近藤浩平 contact@koheikondo.com koheikondo.com

主催: 関西アートミュージック・プロジェクト 湘南 SHOW 点 後援: 日本現代音楽協会

「TEAM EXPO 2025」プログラムについて

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指す取り組みである「TEAM EXPO 2025」プログラム。私たちは地産地消の音楽を関西から全国へ広げる活動として、「関西アートミュージック・プロジェクト」という共創チャレンジで

参加しています。【共創チャレンジ】大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のこと。 <https://team.expo2025.or.jp/ja>

清水友美 (しみず ともみ) 作曲・ピアノ・鍵盤ハーモニカ、歌、ダンス

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。現代音楽演奏コンクール「競楽VI」第3位等、多数入賞。'02年 Luc Ferrari 氏の作品を演奏するピアニストとして1位選出されソロリサイタルデビュー。'07年以降ビートルズを素材に、複数の作曲家による新作でツアーを行う。'09年 TWS「EXPERIMENTAL SOUND & ART FESTIVAL」にて演奏やダンス、語り、映像等を組み合わせたソロパフォーマンスで奨励賞。POPSバンド「foolish fish」ではVoを担当し、ミュージカル、演劇やダンス公演の作曲も手掛ける。FM 湘南ナパサ「清水友美の LOVE 湘南」毎週土曜放送中。 <http://ameblo.jp/tomomi-shimizu/>

野村誠 (のむら まこと) 作曲・ピアノ・鍵盤ハーモニカ他

1968年、名古屋生。主な作曲活動に、アクリイやシシオザルと共演する「動物との音楽」、屋根の瓦を演奏する「瓦の音楽」、演劇、ダンス、音楽、マネジメントが交差する「門限ズ」、相撲に音楽を聞く「相撲聞芸術」、だじゃれで音楽を創作する「だじゃれ音楽」、調律師と未来のピアノ奏法を探究する「ピアノの本音」、北斎漫画の音楽を創造する「考古楽」、多様な音楽が共存する「世界のしょうないオーケストラ」、東南アジアの作曲家との原発をめぐる共同作曲「魚も核武装する」など。著書に『音楽の未来を作曲する』(晶文社)、『即興演奏ってどうやるの』(あおぞら音楽社、片岡祐介との共著)など。日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。びわ湖アーティスツみんぐる 2021『ガチャ・コン音楽祭』ディレクター。

近藤浩平 (こんどう こうへい) 作曲

2010年ベルリン・ドイツ・オペラ<Klang der Welt Ostasien (世界の音・東アジア)>作曲コンクール第2位(室内楽)。協奏曲、室内楽、ギター曲、トイピアノ、鍵盤ハーモニカ作品などを発表。左手のピアノの作品は、智内威雄氏委嘱作品の「海辺の雪～震災と津波の犠牲者への追悼」が舘野泉氏によりベルリン・フィルハーモニー室内楽ホールでも演奏されるなど演奏機会が多い。「持ち運びできる協奏曲」(ポータブル・コンチェルト)のコンセプトによる「ヴァイオリンと打楽器の為の協奏曲」は、ブダペスト祝祭管弦楽団にも演奏された。2016年にはアリゾナ州にて5日間にわたる Kondo Festival が開催された。「海辺の祈り～震災と原子炉の犠牲者への追悼」は世界各地で再演100回を越える。映画「にしきたショパン」でマドリード国際映画祭最優秀作曲賞。日本現代音楽協会会員。日本作曲家協議会会員。 <http://tkoheikondo.com>

田口雅英 (たぐち もとひで) 作曲

大阪教育大学・茨城大学大学院等で学び、作曲を松永通温・松尾祐孝・早川和子の各氏に師事。1999年第16回現音作曲新人賞入選。2002年8th International Young Composers' Meeting (オランダ・アペルドールン)に選出され、助成金を得て参加。東南アジアの現代音楽に関する調査を、2002年にフィリピンとインドネシアで(日本財団 API フェロシップ助成)、2010年にタイで(Asian Scholarship Foundation Asia Fellow Awards 助成)行う。

日本やアジアの伝統音楽の要素を自作品に反映させる事に興味があり、伝統音楽の構造の応用や、儀礼的要素の導入等、様々な手法を試みながら作曲活動を続けている。日本現代音楽協会会員。

